

こんぺいとう通信

2008

10

教室のみなさん、こんにちは (^o^)
 なんだか暑かったり寒かったりで、いまいち調子が出ないですね。私も朝、せっかく半袖を着たのに、外に出たら寒くて、あわてて衣装ケースをひっくり返して長袖を発掘し、時計を見たら“もうこんな時間”。あわてて教室までひੱつ走り。教室に着いた頃にはすっかり汗ばんでいたりで…。

こんなことなら、半袖で来ればよかった (+o+)
 っいうか、もっと早く家を出るって感じですよ。反省しなきゃ。「早起きは三文の得」っていうし。(そんな諺、今でも使う人いるのかしらん?)

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - *
 何事も時間に余裕を持ってする方って、いらっしゃいますよね。何をやるにも準備万端。待ち合わせのときも、必ず5分前には来ている、というような。素晴らしいなーと心から思います。

どうも昔から、そういうのが苦手なんです。今日の内にこれをやっ飛ばせば、明日は楽ができるのに。わかっているんですよ、頭では。でもついつい先延ばしにしてしまうんです。

「明日できることは、決して今日してはならない」という固い信念を持っているわけではないのですけどね…。

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - *
 小学生の頃、夏休みが始まる前には、いつも計画を立てました。

「7月31日までにすべての宿題を終わらせる。そして8月いっぱい遊びまくる」

しかしてその結果は・・・お察しの通りです。毎年8月31日の夜は、目を真っ赤にして過ごしました。そのカワイソーな子どもを傍らに、父がビールを飲みながらプロ野球を見ている光景は、今でもよく覚えています。それを横目で睨みながら

「くそー、オレも早くオトナになりたいー」と思ったものでした。

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - *
 うる覚えですが、以前見たテレビ番組で、こんなことを言っていました。

何をやるにも、いつも決まってぎりぎりの人は、実は脳が以前の経験をもとに計算をしているのだそうです。「去年の宿題は8月20日から取り掛かっても間に合った」だから「今年は21日からでもきつと大丈夫」というように、脳の視床下部(だったかなあ? 誰か教えて)が海馬の記憶をもとに都合よく考えて、「じゃあ、大丈夫!」と前頭葉が決定する、と。

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - *
 ま、まずい。ということは、苦手とか能力とかの問題じゃなくて、私が自分の意思でぐずぐずしているだけじゃないですか。やはり、しっかりと反省しなければ。

そんな私は、こんな本を買いました。

「[グズをなおせば人生はうまくいく 問題解決編](#)」

(斎藤 茂太 著)

この本には、まるで私自身のような人たちの例がたくさん出ています。読んでみて「ああ、なるほど」とか「よし、自分の行動を改めよう」と思うようなことがたくさん書かれていました。ご興味のある方は、お読みになってみてはいかがでしょうか。

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - *
 ところで、書名には「問題解決編」とありますが、私の問題は少しは解決したのか、ですって?

そ、それは、もう少し待って(汗)ん～、あと3回ぐらい読み返してみますから。

とりあえず10月号は10月の内に書きあげますっ。

あとがき

なんとか間に合ったみたいですね。(って反省が足りない?)